

03 特集・仕事図鑑
ものづくりにかける

仙台高等専門学校
**課題解決型
インターンシップ**

[CASE.1]

情報電子システム工学専攻

加藤 尚也さん

株式会社ケーヒン 宮城第二製作所

[CASE.2]

生産システムデザイン工学専攻

伊藤 電聖さん

株式会社RSテクノロジーズ 三本木工場

[CASE.3]

情報電子システム工学専攻

佐藤 慶太さん

生産システムデザイン工学専攻

一條 裕貴さん

バイスリープロジェクト株式会社

[CASE.4]

生産システムデザイン工学専攻

二階堂 綾香さん

東北三和銅器株式会社

15 技の肖像

ピアノ調律師

伊藤 正男さん

16 report 技能士を育てる。

株式会社阿部蒲鉾店

17 みやぎものづくり女子

株式会社東北イノアック

浮津 天音さん

19 あすを拓く

カガモク

加賀 浩嗣さん

21 NEWS BOX

仙台高等専門学校が実施する
課題解決型インターンシップって？

企業が抱える課題解決に向け取り組む
長期インターンシップです

就職活動の前哨戦として定着
日本のインターンシップ

インターンシップは、企業や公共施設などが提供する就業体験の場に、生徒や学生が一定期間参加する制度のことです。

日本でインターンシップが広く知られるようになったのは、バブル崩壊後の就職難や早期退職者の増加がみられた1997年頃でした。同年、国（当時の文部省、通商産業省、労働省）はこの状況を打開するため、「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」を公表。この中で、インターンシップは「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」と定義されました。

こうしてインターンシップは全国に普及し、企業や生徒・学生にとって、キャリア形成の第一歩として認知されるようになりました。



目的の多様化により変化する
実施期間と活動内容

インターンシップの普及とともに、仕事体験や業界研究のほか、コミュニケーション能力や課題解決能力といった、社会人として必要な資質を確認することなど目的も多様化しています。最近では、1日の体験プログラムを通じて企業について学ぶワンデイ・インターンシップや、数カ月にわたり実際の業務の一部を体験できる長期のインターンシップを行う企業が増えています。

今回、「仕事図鑑」で紹介する仙台高等専門学校では、本科4年目と5年目、専攻科1年目の学生を対象にインターンシップという科目を開設しています。

特に、本科4年目に実施する1〜2週間の「就労体験型インターンシップ」と、専攻科1年目に実施する5〜12週間の「課題解決型インターンシップ」は、必修に準ずる重要な科目として位置付けられています。

技術者の卵が挑む、仙台高専の
課題解決型インターンシップ

同校における「課題解決型インターンシップ」は、ものづくり現場での経験を通じて、課題を発見し、それを解決する能力を養い、社会人や技術者としての自覚を持たせることを目的に始まりました。学生は、それぞれのインターンシップ先で研究開発チームの一員として参加し、企業が実際に抱えている課題に長期にわたって取り組み、成果を挙げるという目標に挑みます。

3年目の実施となる今年度は、15の企業に49人の学生が参加しました。その目的は、「自分の研究テーマと同じ内容だったから」「専門分野以外の知識を学んで知見を広げたいから」など学生によって様々。今後の研究や進路に生かそうと個人やグループで課題解決に取り組まれました。

今号では、4つの企業で課題解決型インターンシップに挑んだ学生の姿を紹介します。



生産システムデザイン工学専攻
(名取キャンパス)



情報電子システム工学専攻
(広瀬キャンパス)

